

# 次期静岡県国土利用計画の 策定に向けて

---

令和5年2月8日  
静岡県国土利用計画審議会事務局

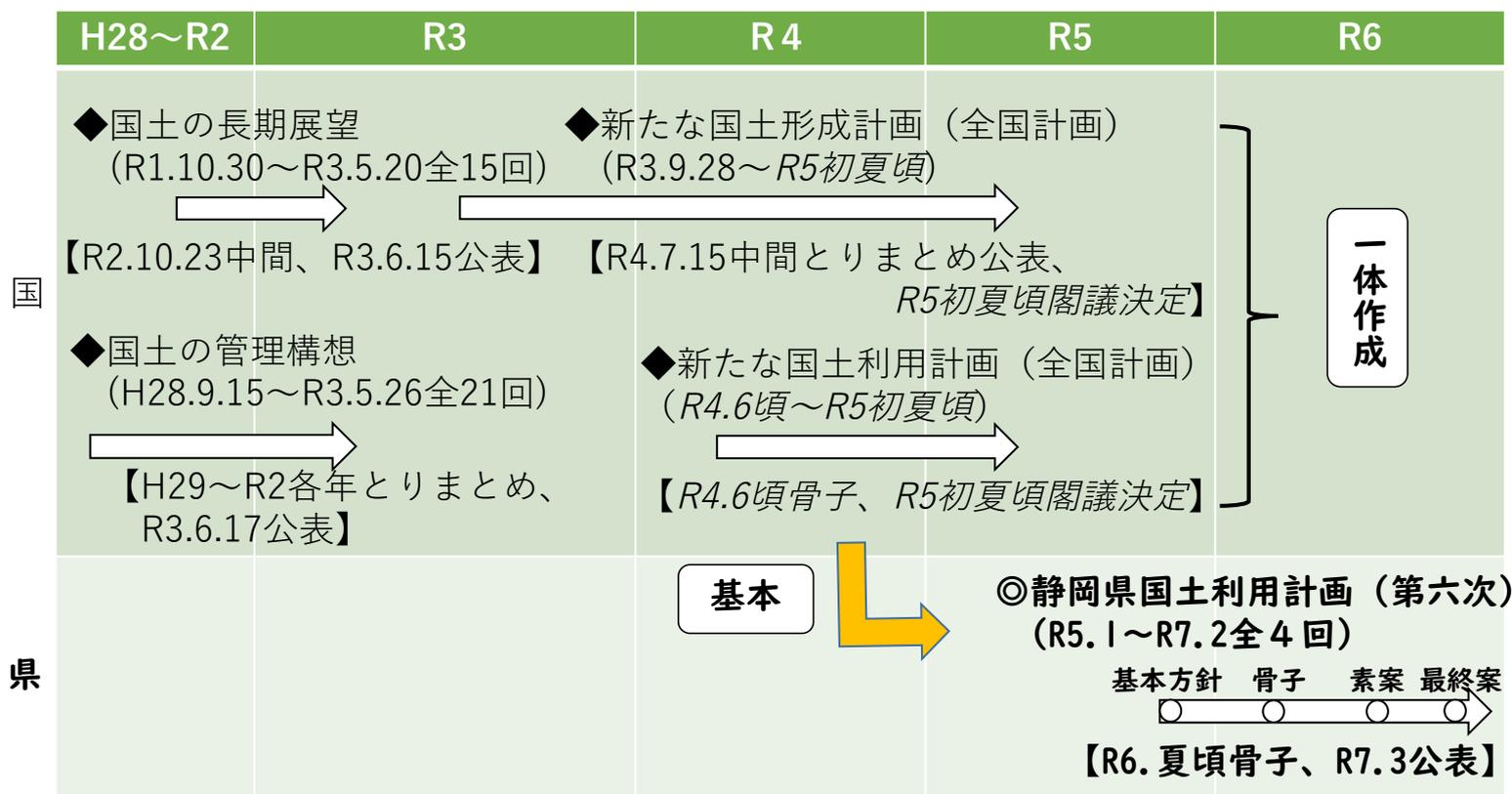
1

## 1 静岡県国土利用計画（第6次） 策定スケジュール

---

2

# 静岡県国土利用計画（第六次）策定スケジュール（案）



※国の策定スケジュールは、議事録及び前回スケジュールより推定。

県スケジュールは国の作業状況により変更の場合がある。

※（ ）は国審議会部会及び県審議会の開催年月日及び回数を示す。

3

# （参考）静岡県国土利用計画（第五次）策定スケジュール



※（ ）は国審議会部会及び県審議会の開催年月日及び回数を示す

4

# 2 国土形成計画（全国計画）の 中間とりまとめについて

## 国土形成計画(全国計画) 中間とりまとめ(概要)

### 国土の課題

・人口減少・少子高齢化への対応、 ・巨大災害リスクへの対応、 ・気候変動への対応（カーボンニュートラル（CN）の実現）、  
・東京一極集中の是正、 ・地方の暮らしに不可欠な諸機能の確保、 ・国際競争力の強化、 ・エネルギー・食料の安定供給

### 《新しい資本主義の体現》

・新たな官民連携、社会課題解決と経済成長、  
国民の持続的な幸福

### 《デジタル田園都市国家構想の実現》

全国どこでも誰もが便利で快適に  
暮らせる社会

### 共通して取り入れるべき課題解決の原理

- ① 民の力を最大限発揮する官民共創
- ② デジタルの徹底活用
- ③ 生活者・事業者の利便の最適化
- ④ 分野の垣根を越えること（いわゆる横断の発想）

### 重点的に取り組む分野とその方向

地域の関係者がデジタルを活用して  
自らデザインする新たな生活圏  
～ 地域生活圏 ～

#### < 地域生活圏 >

- 地域ごとに
    - ① 官民の多様な主体が共創して
    - ② デジタルを徹底活用し
    - ③ 生活者・事業者の利便を最適化しつつ
    - ④ 横断の発想 という4つの原理で
 取組を独自に考え行動し、将来にわたり暮らしに  
不可欠な諸機能の維持・向上を図る新しい生活圏
  - 市町村界に捉われず、4つの原理をうまく取り入れる  
(取組の参考となる人口規模のひとつの目安は10万人)
  - ▶▶▶ 全国で地域生活圏を構築し、  
デジタル田園都市国家構想を実現
- (取組の例)
- ・大都市と同様に5Gをはじめとするデジタルインフラを確保
  - ・官民や交通事業者間、他分野との垣根を越えた「共創」  
で地域交通をリ・デザインし、住民の移動手段を確保
  - ・将来の自動運転の実装・普及に必要な都市・地域構造  
の実現
  - ・地域産業は「稼ぐ力」を強化  
(デジタル実装、海外展開、スマート農林水産業等)
  - ・テレワークによる多様な暮らし方・働き方の実現
- 実現に向けた多様な人材の確保
- ① 関係人口の拡大・深化
  - ② 女性活躍

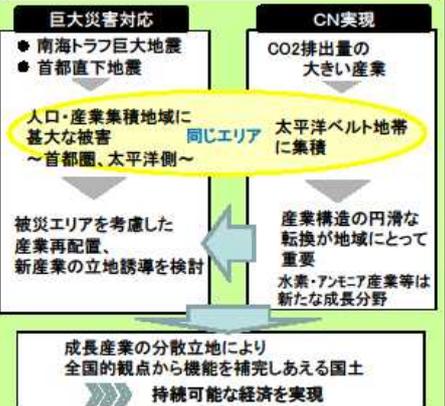
多様なニーズに応じあらゆる暮らし方と経済活動を  
可能にする世界唯一の新たな大都市圏  
～ スーパー・メガリージョンの進化 ～

#### < 世界唯一の魅力 >

- 東京・名古屋・大阪を含む一連の圏域が、リニア中  
央新幹線の開業、5Gの活用や自動運転の実現によ  
って、一体化した世界最大級の新たな大都市圏を  
形成
  - 多様な暮らし方と経済活動を提供できる大都市圏と  
して世界に例を見ない存在
- < 世界唯一の魅力 >
- 多彩な自然・歴史・文化を内包し、多様な価値観に応じた  
暮らし方と経済活動の選択肢を提供
  - 巨大災害へのリスクも、新たな大都市圏内での補完が  
可能
  - 世界からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み  
● イノベーションの創出、スタートアップの輩出  
～ 国際的なスタートアップエコシステム
  - ▶▶▶ 国際競争力の回復・強化を牽引
- < 地方にとっての魅力 >
- 地方にとって広大な新たな大都市圏との距離が短くなり、  
地方経済の活性化、稼ぐ力の向上、雇用の拡大
  - 地方と海外の架け橋としても役割を発揮
  - 地域生活圏の実現を下支え
  - ▶▶▶ 地方の活性化を牽引

産業の構造転換・再配置により、機能を補充しあう国土  
～ 令和の産業再配置 ～

- 地域生活圏の構築と新たな大都市圏の形成を目指す  
中で持続可能な経済を実現
- 巨大災害のリスク軽減を、CN実現のための産業転換  
を契機に、同時に解決
- 民が力を最大限発揮し、官が支えていくことが不可欠



住民自らが話し合い官のサポートで人口減少下の適正な土地の利用・管理の方向性を示す管理構想の推進方を強化して全国展開(国土利用計画)

持続可能な国土の形成、地方から全国へとボトムアップの成長、東京一極集中の是正

### 今後の進め方

○7月：国土形成計画の中間とりまとめ(国土審議会) ⇒ 具体的対応策の検討等 ○来年少：新たな国土形成計画(閣議決定)